

(様式 1)

令和7年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県漕艇場 スポーツ振興課

2 施設所在地
富山市岩稲20-1

3 施設設置年度
平成5 年度

4 設置目的
県民の体育及びレクリエーションの振興を図る。

5 施設概要
コース (1,000m×6レーン)・・・日本ボート協会B級公認コース
(主な設備等)
・艇庫 (100艇収容)
・宿泊室 (8室・64名)、食堂、浴室、会議室

6 指定管理者
公益財団法人富山県スポーツ協会

7 指定期間
3 年
令和5年4月1日 ～ 令和8年3月31日

8 利用者数及び利用 (使用) 料金収入の状況

(1) 利用者数 (人) ※この他、参考となる指標があれば追加

R3	R4	R5	R6	R7
13,181	15,030	14,143	16,630	12,834

(2) 利用 (使用) 料金収入 (千円)

R3	R4	R5	R6	R7
176	567	841	1,130	785

(3) 利用料金収入見込み額 (利用料金制導入施設の場合)

R3	R4	R5	R6	R7
986	986	1,013	1,013	1,013

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・令和7年度は、北信越高校総体が別の会場で開催されたことや全国大会の日程が移動したことで利用者、利用料金収入が減少し、例年通りとなった。

(2) サービス向上に向けた取組み

・各種大会、団体利用時において、要望に応じて開館時間の繰上げや臨時開館に柔軟に対応した。（繰上げ開館 3 件、臨時開館 4 件）
・施設利用者へのアンケート調査、競技団体からの聞き取り等により、施設に対する要望、利用者ニーズの把握に努めた。
・施設利用者の便宜を図るため、引き続き飲料等の自動販売機を設置した。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

・県内外の競技者を対象とした記録会（タイムトライアル）を開催し、施設の利用促進を図っている。
・SNS（Facebook）により、施設の利用状況（天候や湖面使用の可否等）や記録会の開催案内を掲載するなど、情報発信の充実に努めている。
・夏季休業期間の7～8月は、利用実績のある県外の大学に声掛けを行い、日程調整をしながら宿泊施設の有効利用を図った。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	実施期間：通年 実施方法：①事務所にアンケート用紙を設置、宿泊団体に依頼 ②競技団体指導者や利用者への聞き取り
回答者数	回答者数：アンケート回答 29人
結果	・職員の対応がよい 96.5%、今後も利用したい 100% ・意見・要望等 コースロープの軽量化、フリーWifiの導入
結果を踏まえた改善事項	・いただいた要望については、重要性、必要性、緊急性などを考慮し、できる範囲で対応していくよう努める。

② その他利用者の声を反映させる取組み

競技団体等からの聞き取り等により、施設に対する要望、利用者ニーズの把握に努めた。

③ 主な苦情と対応

無

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報取扱留意事項を職員に周知徹底しており、適切な個人情報保護に努めている。

(6) 関係団体との連携

- ・県高校総体において、コース設営、会場準備など大会の実施・運営に協力した。
- ・地元の祭礼や新春行事に協力し、地域との親交を図り、施設の周知を行った。

(7) 施設・設備の維持管理

施設・設備は適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

- ・事故発生時の早急な対応のため緊急連絡網を作成している。
- ・湖面利用における事故防止のため、ダム湖を管理する北陸電力と常に連携を図り、安全管理に努めている。
- ・安全監視艇（指導艇）のモーターボートを常に整備し、湖面上の事故に素早く対応できるよう努めている。
- ・湖面上の流木の除去や危険箇所の確認、安全管理のための巡視等を実施し、事故防止に努めている。
- ・毎年変化する練習水域の護岸状況や危険箇所を確認し、ハザードマップを更新するとともに艇庫前に掲示し、危険箇所の把握や通行ルールを利用者に周知徹底し、事故防止に努めている。
- ・利用者からも危険箇所の聞き取りをして、樹木伐採を実施した。
- ・上流の大雨による増水で栈橋が流出することがないように、天気予報、天候状況を確認しながら、栈橋の一時撤去を年3回実施し、栈橋の流出を回避した。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有／無

回数(有の場合)

有	12
有	1
無	—
無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等（収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載）

・競技性が高く利用者が限られていることや、自然条件により施設使用が制限されることから、今後とも関係団体等と連携し、合宿利用の増加や初心者を対象とした教室等の充実、記録会の実施など、より一層の利用促進に向けた継続的な取り組みを行っていく必要がある。